

生活指導部だより

第2号

令和8年7月17日（金）発行

東京都立村山特別支援学校

校長 阿部 智子

主幹教諭 菅谷さおり

日頃から本校の教育活動に御理解・御協力を賜り心より感謝申し上げます。

今号では、7月8日（水）に行われた、総合防災訓練、7月避難訓練・引き取り訓練、防災研修（教職員対象）の様子についてお知らせいたします。

【総合防災訓練】

東京消防庁北多摩西部消防署の署員の方に御指導いただき、起震車体験、煙体験、消火訓練を行いました。また、多目的室では災害に備えた準備や知識を、○×クイズ形式で学習したり、ポップアップテント等、校内の災害備蓄品を確認したりしました。

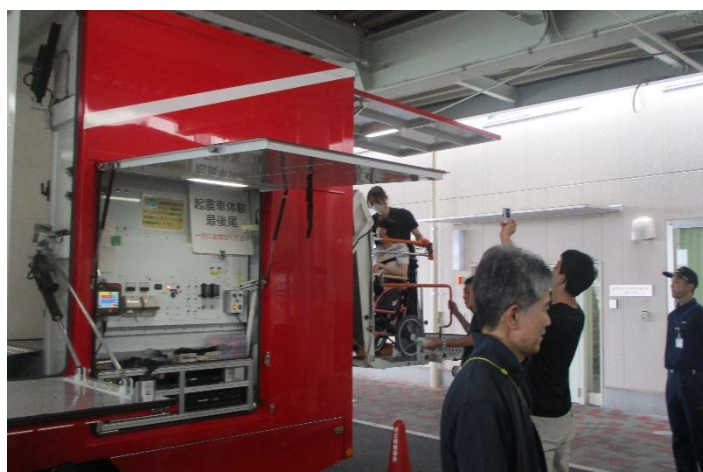
○煙体験

煙の中は視界が悪いことや、煙を吸わないように口や鼻をタオルなどで覆い、なるべく低い姿勢で移動することが大切だと学びました。



○起震車体験

今年度も車いすのまま乗ることができる貴重な起震車を体験しました。揺れが収まるまでは、落ち着いて身の安全を確保することが大事だと学びました。



○消火訓練

水が入った訓練用の消火器を使い、消火訓練を体験しました。消火器のホースをしっかりと押さえて、前に向けて放射しました。



○避難訓練・引き取り訓練

震度5強の地震発生を想定した避難訓練と引き取り訓練を行いました。当日は、73名の児童・生徒の保護者に参加していただき、実際に災害が起きた際に、お迎えにかかる時間や経路等をシミュレーションしていただきました。御協力ありがとうございました。



○防災研修（教職員対象）

大規模地震発生時を想定して、各対応班（連絡班、施設班、食糧班、救護班、避難所支援班など）の動きを確認しました。災害備蓄品の確認や非常食の準備・試食などを行いました。



【夏季休業中の生活について】

7月21日（火）から、夏季休業が始まります。別紙「夏季休業中の生活について」をお読みいただき、元気にお過ごしください。何か学校に連絡することが生じましたら、記載の連絡先に御連絡ください。



【住まいの防火防災診断について】

総合防災訓練でも御協力いただいた東京消防庁北多摩西部消防署から、「住まいの防火防災診断」について案内がありました。本診断は、防火防災に関する専門的な知識をもつ消防職員が各御家庭を訪問し、生活実態や防火対策等の実施状況を確認しながら、安全に暮らすための対策を提案するものです。

災害時には在宅避難も推奨されており、御家庭の状況を防災を専門とする消防署職員に見ていただける貴重な機会です。別紙を御覧いただき、お住いの管轄の消防署へ御連絡してください。

す ぼう か ぼう さい しん だん
住まいの防火防災診断

こんなことはありませんか？ ☒ チェックしてみよう！

 ☐ 灰皿に吸殻をためる	 ☐ ストープの近くにものを置く	 ☐ こんろの近くに燃えやすいものを置く
 ☐ 住宅用火災警報器の電池が切れている	 ☐ 家具類が固定されていない	 ☐ 滑りやすい床がある

これらには**火災、事故**などの危険があります！

消防職員によるチェックを受けてみませんか？
住まいの防火防災診断では、自宅を訪問し、**火災、地震、日常生活事故**の危険について、**対策をご提案**します。

《診断をご希望の方》
最寄りの消防署にお電話いただくか、このリーフレットにチェックを入れ消防署にご持参ください。

☐ 住まいの防火防災診断を希望する

東京消防庁

